

2020年7月

関係各位

2020年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

開催のお知らせ

建設マネジメント委員会

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長 堀田 昌英）では、多数の研究小委員会（2020年度：15テーマ）を設け、建設マネジメントに関する研究活動を実施しております。これらの研究成果を広く社会に還元するため、本年も表彰式と併せて研究成果発表会を開催します。貴組織の関係者の皆様にもご案内いただければ幸いです。また今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン会議ツール「ZOOM（ウェビナー）」を利用して開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。なお、本発表会は「土木学会認定CPDプログラム」として申請中です。

行 事 名：2020年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

行事コード：452003

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：2020年8月3日（月）13:00～16:20（終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：オンライン開催

（※アクセスに必要なURL等は、後日、参加申込み者宛にメールにてご案内）

参 加 費：無 料

定 員：400名（申込先着順）

申 込 方 法：土木学会行事のHP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) からお申し込み下さい。

申込締切日：2020年7月27日（月）

問 合 先：（公社）土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：桃井

E-mail：momoi “at” jsce.or.jp（atを@に変えてください）

詳 細：発表会プログラムは次頁以降参照。

# 2020 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：2020 年 8 月 3 日（月） 13：00～16：20 （終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：オンライン開催

## プログラム

### 【開会】

13:00～13:05 開会の挨拶 : 建設マネジメント委員会 堀田 昌英 委員長

### 【表彰式】

13:05～13:50 表彰発表：表彰小委員会 金子 雄一郎 小委員長  
表彰状授与：建設マネジメント委員会 堀田 昌英 委員長  
論文賞/論文奨励賞 受賞論文概要紹介  
グッド・プラクティス賞 概要紹介  
優秀講演賞 受賞者紹介

13:50～14:00 休 憩

【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。  
※時間に質疑 5 分程度を含みます。

|   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 14:00～14:35 (35 分)  | インフラ事業における VFM によるマネジメント           |
| ＜テーマのポイント＞<br>・インフラ PFI/PPP 事業における価値ドライバーとしての VFM<br>・インフラ PFI/PPP 事業における VFM マネジメント  |                                    |
| ＜発表内容＞<br>インフラ事業に PFI/PPP 方式を採用する際、VFM が重要な指標となる。本来の意味における VFM は、同方式を採用することによる各要因変化がインフラ事業の価値を高めるメカニズムを、的確に表現する指標である。その価値ドライバーとしての VFM の源泉と条件を再整理し、それをを用いたマネジメント手法を検討した。本発表では、VFM マネジメントとして、それらの検討内容と具体的な手法を報告する。 |                                    |
| 研究小委員会名   | インフラ事業における PFI/PPP 推進研究小委員会（第 1 種） |
| 発表者   | 北詰 恵一（関西大学）                        |

|   |   |
|---|---|
| 14:35～15:10 (35分)   | 公共工事の価格決定構造の転換にむけた取組について                  |
| <p>&lt;テーマのポイント&gt;</p> <p>発注者の積算基準を拠り所とせず、健全な競争環境の下、技術者・技能者に適正な対価が支払われ、技術開発意欲を増進する調達の実現を目指す。</p>   |   |
| <p>&lt;発表内容&gt;</p> <p>1. 公共工事の価格決定構造の課題</p> <p>(1) わが国の公共工事は、発注者側積算をベースとした予定価格による上限・下請により価格が決まり、その後に労務賃金が決まるという、上流から下流へ価格が決まる価格決定構造。</p> <p>(2) 技術者・技能者に適正な対価が支払われない、技術開発意欲を増進する調達が実現されていない等の問題がある。</p> <p>2. 研究・検討方針</p> <p>(1) 建設市場に健全な競争環境を醸成し、企業の技術開発の促進と、不調不落や担い手不足の解消につながり、公共工事の品質確保と生産性向上に資する制度の実現を目指す。</p> <p>(2) 価格決定構造、商慣習、積算、支払い方式等の手続きに関する国内外の比較</p> <p>(3) 労務賃金等の確保・確認方策、受注者の技術開発意欲向上策の検討 等</p> |   |
| 研究小委員会名   | 公共工事の価格決定構造の転換に関する研究小委員会 (第1種)            |
| 発表者   | 木下 誠也 (日本大学)<br>関 健太郎 (国土交通省 国土技術政策総合研究所) |

15:10～15:20 休 憩

|  |                            |
|--|----------------------------|
| 15:20～15:45 (25分)  | 建設マネジメント力の発現事例の体系化         |
| <p>&lt;テーマのポイント&gt;</p> <p>技術者インタビューの成果から建設マネジメント力の能力発現事例を体系的に整理、表現し、実感に近い形で建設マネジメント力を提示。</p>  |                            |
| <p>&lt;発表内容&gt;</p> <p>建設マネジメント力の高い技術者は「どのような事態に遭遇したときどのような対応がとれる者か。」技術者インタビューの結果から遭遇事態に対するいくつかの対応パターンを抽出し、代表的な対応パターンを短い文章により発現事例として表現した。この発現事例を体系的整理し建設マネジメント力をより実感に近い形で提示する。</p> |                            |
| 研究小委員会名  | 建設マネジメント力研究小委員会 (第3種)      |
| 発表者  | 木下 賢司 ((株) 熊谷組土木事業本部 常任顧問) |

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 15:45～16:10 (25分)   | 公共事業のイノベーション促進要因のプレ調査に関する報告   |
| <p>&lt;テーマのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上のために「イノベーションが必要」だと言われている。本小委員会では、「プロセスイノベーション」をテーマとして議論するとの認識に至った。</li> <li>・試行的に行ったアンケート調査では発注者の要請が生産性向上、技術革新に重要であるとの結果が得られた。</li> </ul> |                               |
| <p>&lt;発表内容&gt;</p> <p>i-constructionに代表される、建設業の技術革新は「プロセスイノベーション」であると考えられるに至った。イノベーションとは「プロダクトイノベーション」と「プロセスイノベーション」に大別される。多くの場合、「イノベーション」とは「プロダクトイノベーション」を意味する。発表では、生産性研究の近年の動向及び試行的に行ったアンケート調査を報告する。</p>     |                               |
| 研究小委員会名   | 建設産業の生産性とイノベーション調査研究小委員会（第3種） |
| 発表者   | 森本 恵美（国土交通省 国土技術政策総合研究所）      |

【閉会】

16:10～16:20 閉会の挨拶 : 運営小委員会 池田 裕二 小委員長



◆問い合わせ

公益社団法人 土木学会  
 研究事業課 建設マネジメント委員会  
 担当 桃井

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
 TEL:03-3355-3559  
 E-mail:momoi@jsce.or.jp

